

## ① 円全面安

- ⇒ 米10年国債利回りが1.501%にも関わらず、1ドル=110.08円前後
- ⇒ 1ユーロ=133.40円、1ポンド=155.30円、1豪ドル=84.90円と円全面安の展開に
- ⇒ 明日のFOMC後のパウエル議長のコメントをマーケットは気にしているようです
- ⇒ 1ドル=112.21円を突破すると125円に向かうと思います

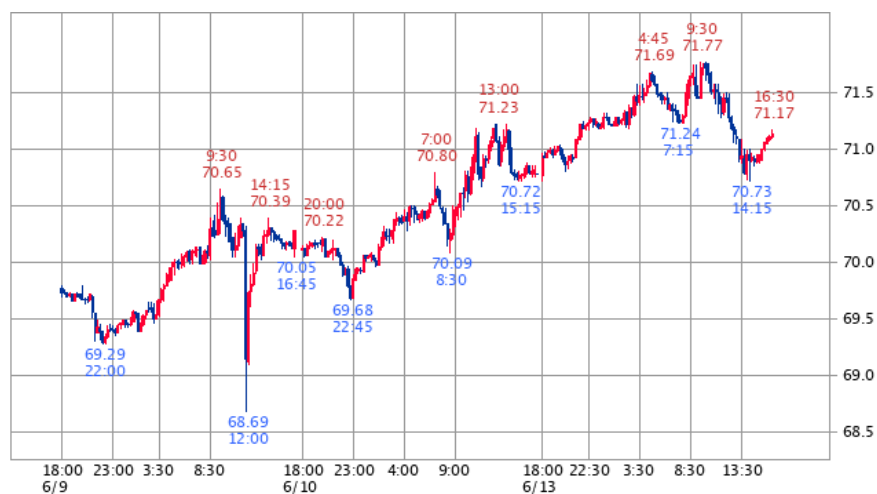
### 【米ドル:3年】



## ② 原油


- ⇒ WTI原油は、一時1バレル=71.77ドルと高値を更新
- ⇒ 71ドル台で推移しています
- ⇒ 継続的にマネーが流入している模様
- ⇒ 需給関係は簡単には改善する見込みがなく、80ドル台に向かう流れは変わらず

### 【WTI原油:3日】



### ③ G7 と 台湾

## G7首脳による共同宣言のポイント

<b>対中国</b> 	市場をゆがめる政策に対し、(G7が) 集団的に対応。開かれた社会、経済として結束
	ウイグルなどへの人権尊重を要求。G7の民主主義の価値観を推進
	台湾海峡の平和と安定の重要性を強調
	新型コロナの起源を巡る調査を要求

- ⇒ 宣言は 1975 年のランブイエ以来、サミットの歴史で初めて「台湾海峡の平和と安定」と記した。日本政府関係者によると、菅義偉首相とバイデン米大統領が欧州諸国の慎重論を押し切って盛り込んだという
- ⇒ 日米がこだわったのは香港の先例があるからだ。香港に続き台湾まで力による統合を許せば、自由や民主主義の世界秩序は崩壊しかねない
- ⇒ 19 年のサミットはトランプ氏と欧州首脳に亀裂が入り、宣言はわずか 1 枚でしたが、今回は 25 枚に上る本格的な宣言です
- ⇒ 中国への言及は台湾だけではなく、新疆ウイグル自治区や香港の人権や自由の尊重も求めています
- ⇒ 中国は来月の共産党設立 100 周年を前に「内政干渉だ」と反発してはいるものの静観しているように見えます。果たしてこのままおとなしくしているのでしょうか？
- ⇒ また、世界中に散らばっている華僑はこの報道をどう感じているのでしょうか？
- ⇒ 年後半の中国の動向が大変気になります

### ④ 中国の不動産

- ⇒ 中国ではマンションの保有にかかる固定資産税も原則ない。買って 2~3 年放っておいて転売すれば確実にもうかった
- ⇒ 金融監督当局トップの郭樹清氏は 6 月 10 日、上海での講演で「住宅価格は永遠に下がらない、という賭けをしている人は最後に大きな代償を払う」と警告した。固定資産税の全国導入など本格的な価格抑制策に踏み込めるかが今後の焦点になる
- ⇒ 1980 年代後半の日本のようですね
- ⇒ 最後は「中国版不動産バブル」も崩壊すると思います